

# 170 SIENTA

NHP/NSP/NCP170/172/175G('15.07~)

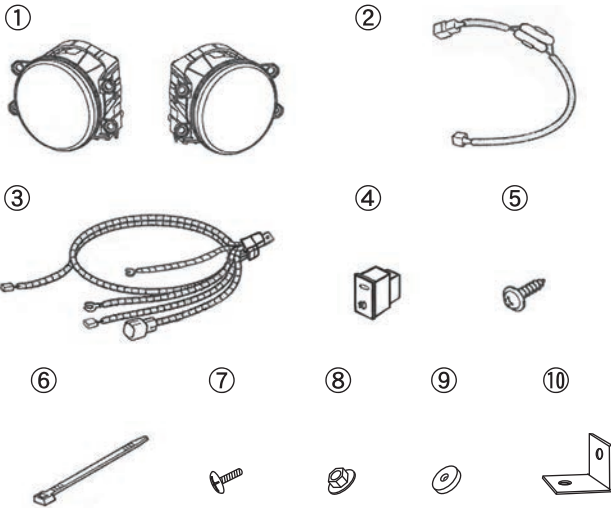


## 取付要領書

この度は、LX-MODE 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品を安全に使用していただくために、お買い求めの自動車用品専門店にてお取付けをお願いします。  
本取付要領書をよくお読みの上、正しく取付けを行って下さい。  
取付け後は、本書を必ずユーザー様へお渡し下さい。

## ■フロントフォグランプキット

### 構成部品

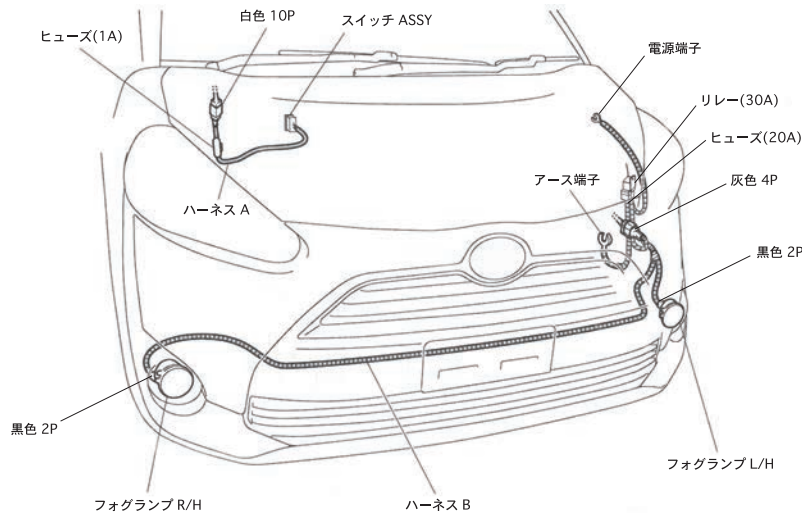


※アクセサリカプラーが使用済みの場合のみ使います



No,	品名	個数
①	ハロゲンフォグランプ (R/L)	各 1
②	ハーネス A	1
③	ハーネス B	1
④	スイッチ (ハーネスAに装着済)	1
⑤	タッピングビス (M5x16)	4
⑥	結束バンド (150mm)	13
⑦	トラスビス (M6x12)	2
⑧	フランジナット (M6x16)	1
⑨	ゴムスペーサー (3mm)	1
⑩	L字ステー (HBB37/40x40)	1
ここから下の部品は、アクセサリカプラーが使用済みの場合のみ使います		
⑪	延長ハーネス (1m)	1
⑫	コルゲートチューブ (1m)	1
⑬	分岐タップ (白)	2
⑭	圧着接続端子	2
⑮	収縮チューブ	2

### 概要図



**bud**  
Back Up Design

株式会社バックアップデザイン

〒457-0012 愛知県名古屋市中区菊住2-18-3 ユーザーダイヤル：077-516-4388

仕様は予告なく変更することがあります。

## ■ 取付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- △ 注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています
- 🔊 アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両および取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (3) 付属（指定）のランプ、スイッチ、リレー、ハーネス等を改造したりしますと、車両火災等重大事故の原因となることがあります。
- (4) 車両との接続は、専用コネクター等の接続端子を使って、確実に接続してください。車両火災等の原因となることがあります。
- (5) バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。
- (6) スポンジテープ、ホルダークランプ等の取り付け面に油脂分や汚れが付いてますと脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等で十分に拭き取り、また火気を近づけないよう充分に注意してください。
- (7) 車両部品の脱着及び車両への取り付け時の傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

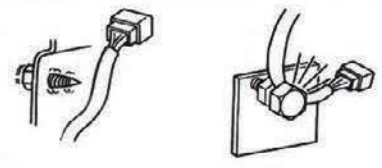
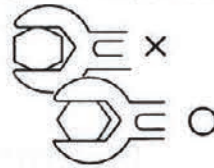
### 取り付ける前に

- バッテリーの（-）側ケーブルをはずす



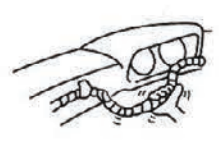
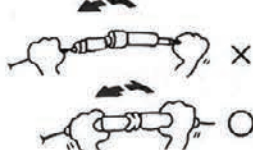
### 部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う
- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する

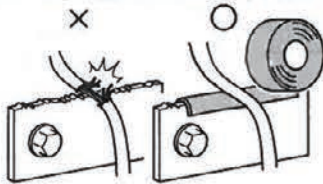


### 配線は

- コネクターは本体を持ってはずす
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する
- コネクターは確実に接続する
- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部はガムテープ等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



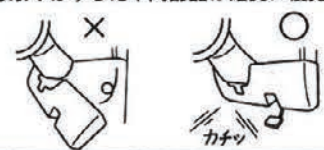
### クランプは

- はだか線にはクランプしない
- 余った部分をカットする
- カットした端末が他のハーネスと接触しないように注意する
- コネクターを異音がしないようにクランプする



### 取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



## △ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

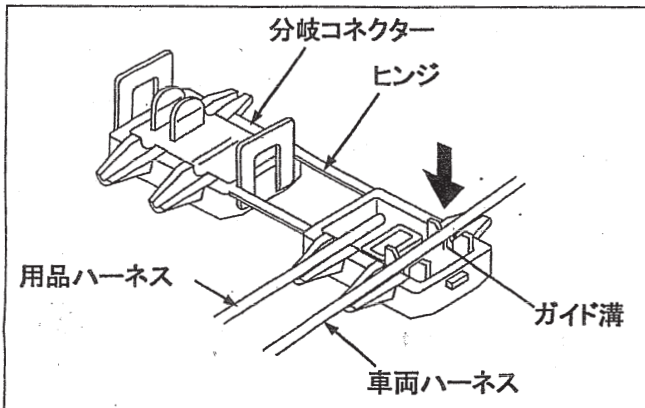


## ■ 分岐コネクタの接続方法

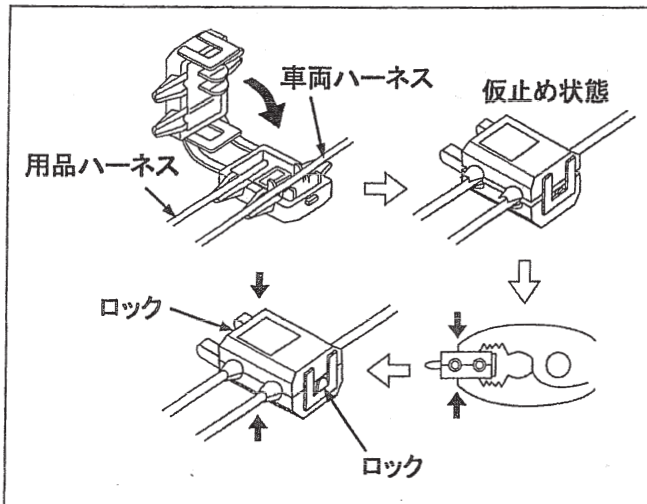
### 分岐コネクタ使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないように充分注意してください。
- (2) 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

### 分岐コネクタの接続手順



- (1) 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
- (2) 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

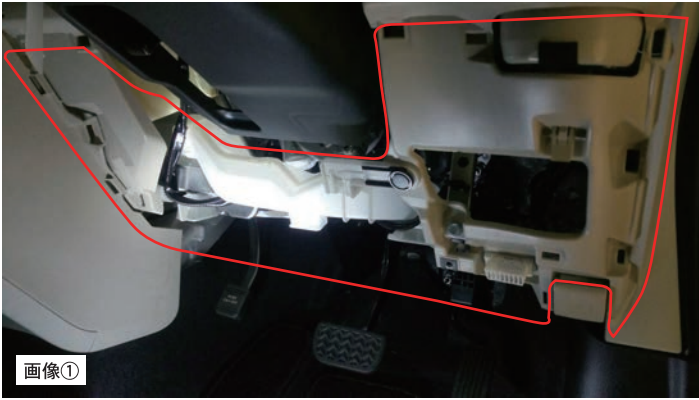


- (3) 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
- (4) 分岐コネクタの異音防止のため、ビニールテープを巻いて処理してください。

### 始業点検

ドアロック、パワーウィンド、ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

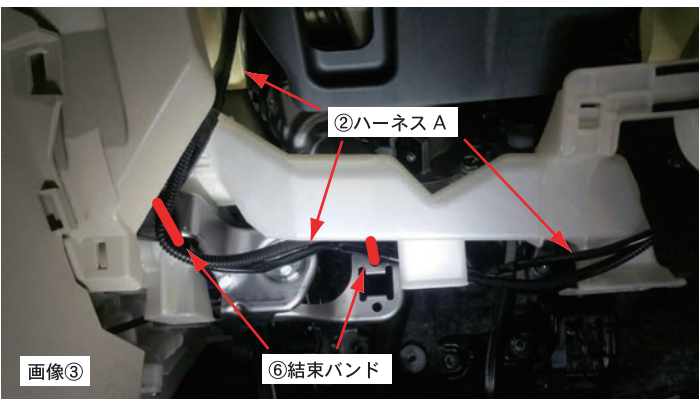
## ■ 取付手順



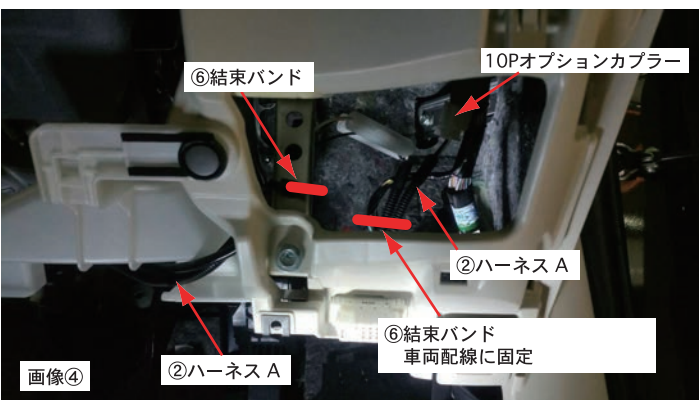
画像①



画像②



画像③



画像④

### ⚠ 注意

ハーネスの断線等の恐れがある為、②ハーネスAのはだか線と車両ブラケットが干渉しない様、また、ハーネスが可動部分に噛み込まない様に十分に注意して、ハーネス及びヒューズは、たるまない様に余長をまとめ、確実に⑥結束バンドで固定して下さい。

## 1. 補機バッテリー端子の取外し

### ■ ガソリン車の場合

1. エンジンルーム内にある補機バッテリーの(一)端子を外します。

### ■ ハイブリッド車の場合

1. ラゲージルームのラゲージフロアボードLHを取り外します。
2. 補機バッテリーの(一)端子を外します。

## 2. 室内配線

1. インパネのアンダーカバー及び、インパネのロアパネルRHを取り外します。(画像①)
2. ステアリングコラム左側のスぺアスイッチホールカバーを取り外し、②ハーネスAをスイッチホールより差し込み、④スイッチを固定します。
3. ②ハーネスAをステアリングコラム左側よりインパネ下部へ垂らし、インパネ右側下部の10P白色オプションカプラーに接続します。(画像③④)
4. ②ハーネスAを⑥結束バンドで固定します。(画像③④)

## ■ 10Pオプションカプラーが使用済みの場合

### 3. 先にエンジンルームの配線を行います。

1. エンジンルームの③ハーネスBの作業を行って下さい。

### 4. ②ハーネスAの加工

1. ②ハーネスAの白色10Pカプラーをニッパー等で切り離します。
2. ②ハーネスAの白色の配線をエンジンルームから室内に引込んだ、①延長ハーネスと④圧着接続端子及び⑤収縮チューブを使用し、接続します。
3. ②ハーネスAの赤色の配線を、他のオプションで使用している10Pオプションカプラーに接続している配線のイルミネーション電源に⑬分岐タップを使用して接続します。
4. ②ハーネスAの黒色の配線を、他のオプションで使用している10Pオプションカプラーに接続している配線のアース配線に⑬分岐タップを使用して接続します。

### ■ 10Pカプラーの切り離し



白線：延長しエンジンルーム配線へ接続  
黒線：アースへ接続  
赤線：イルミネーション電源へ接続

### ■ ハーネスの延長 (収縮チューブを先に通して下さい。)



7mm芯線を出します。



電工ペンチで圧着端子を圧着します。



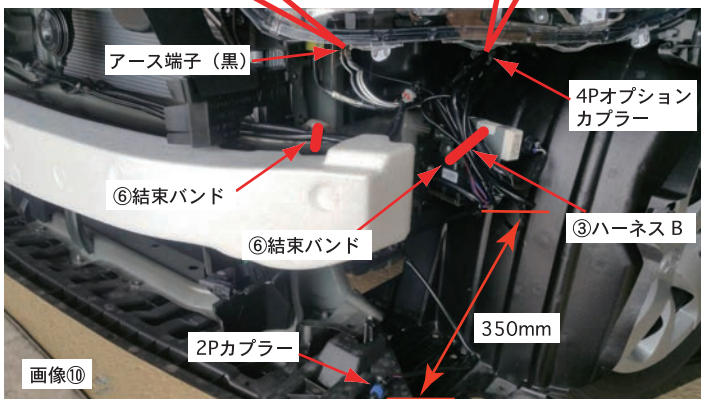
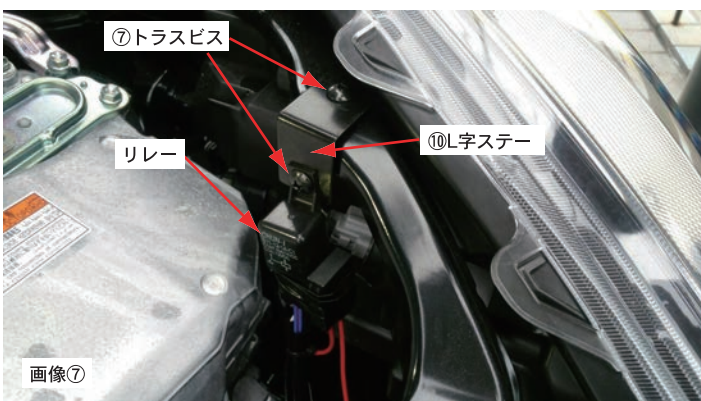
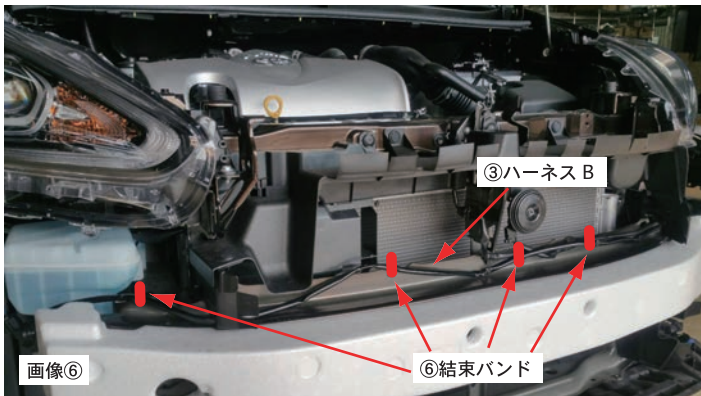
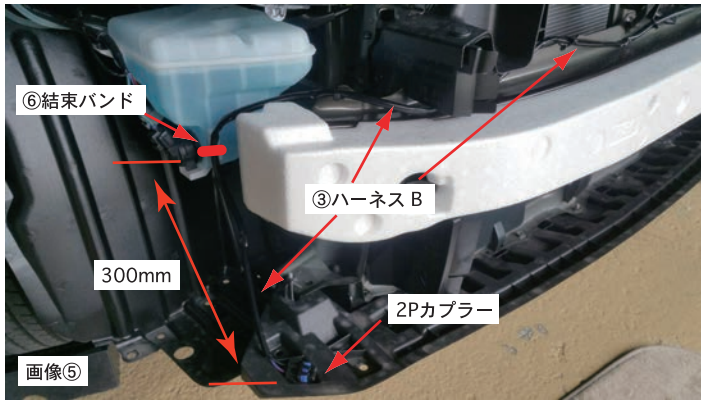
両側、しっかりと圧着します。



ドライヤーでチューブを収縮させます。



## ■ 取付手順



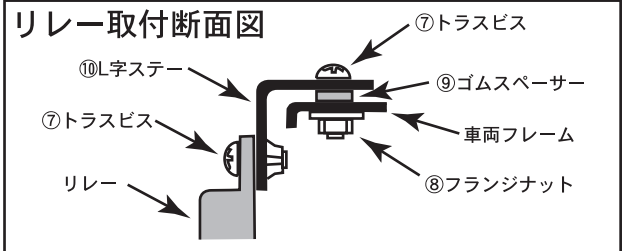
### ⚠ 注意

ハーネスの断線等の恐れがある為、③ハーネスBは、ラジエター等熱を発生する部分に接触しない様、固定して下さい。

## 3.エンジンルーム内の配線

1. 車両よりバンパーを取り外します。(サービスマニュアル参照)
2. ③ハーネスBを画像の様に⑥結束バンドで、ウォシャータンクの既設穴に固定します。(画像⑤)
3. ③ハーネスBを画像の様に⑥結束バンドで、バンパーリーन्हースの穴及び車両ハーネスに固定します。(画像⑥)
4. ③ハーネスBのリレー部分を車両ヘッドライト裏へ配置し、⑦トラスビス、⑧フランジナット、⑨ゴムスペーサー、及び⑩L字ステーにて固定します。(画像⑦)  
※画像はハイブリッド車ですが、ガソリン車も同じです。

### リレー取付断面図



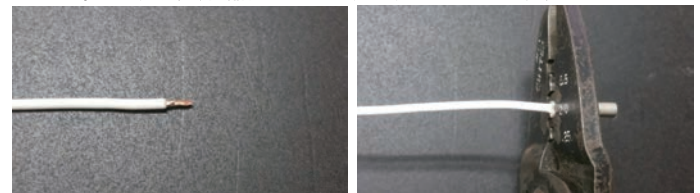
5. ③ハーネスBのアース端子(黒線)を車両のアースポイントに共締めします。(画像⑧⑩)
6. ③ハーネスBの4Pカプラーを車両の4Pオプションカプラーに接続します。(画像⑨⑩)  
※予め4Pオプションカプラーのキャップは外して下さい。
7. ③ハーネスBを画像の様に⑥結束バンドで、車両ハーネスに共締めし、余ったハーネスは束ねて固定します。(画像⑩)

## ■ 4Pオプションカプラーが使用済みの場合

### 4.③ハーネスBの加工

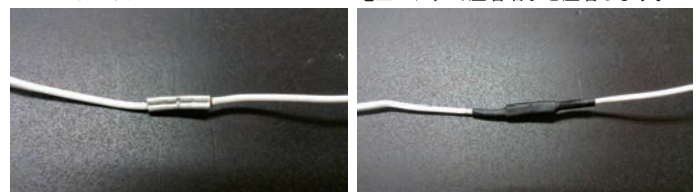
1. ③ハーネスBの灰色4Pカプラーをニッパー等で切り離します。
2. ③ハーネスBの白色の配線を⑪延長ハーネス、⑭圧着接続端子及び⑮収縮チューブを使用し延長します。
3. 延長した⑪延長ハーネスを画像のグローメット部分から室内に引込み、②ハーネスAの白色配線と接続します。  
※グローメット部分は⑥結束バンド等で確実に防水処理して下さい。
4. 必要に応じて⑫コルゲートチューブにて配線を保護して下さい。

■ ハーネスの延長 (収縮チューブを先に通して下さい。)



7mm芯線を出します。

電工ペンチで圧着端子を圧着します。

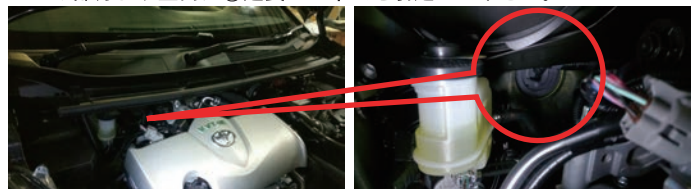


両側、しっかりと圧着します。

ドライヤーでチューブを収縮させます。

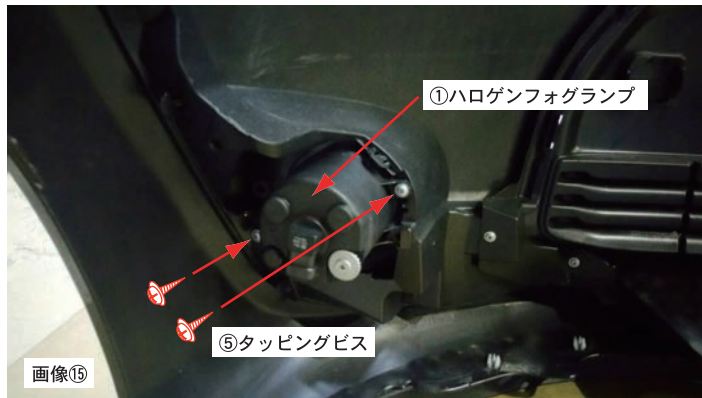
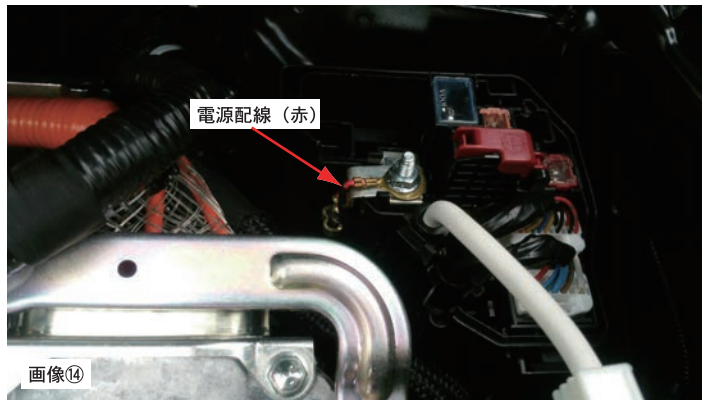
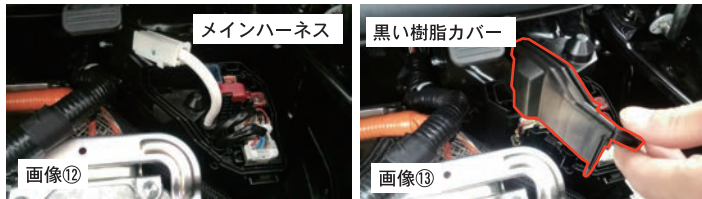
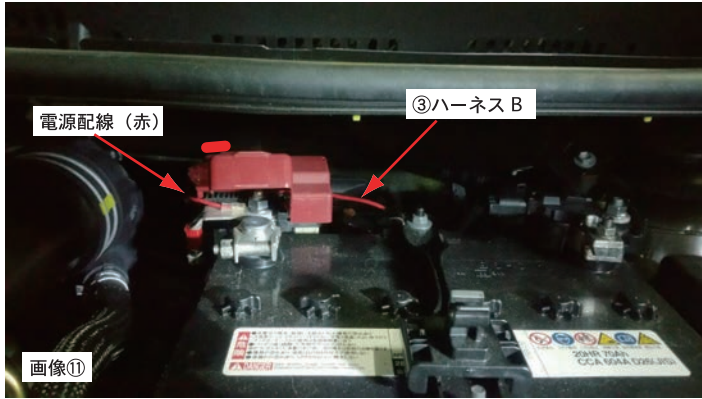
■ 室内への引込み

この部分より室内に⑪延長ハーネスを引込んで下さい。





## ■ 取付手順



## 7.電源線の接続

### ■ガソリン車の場合

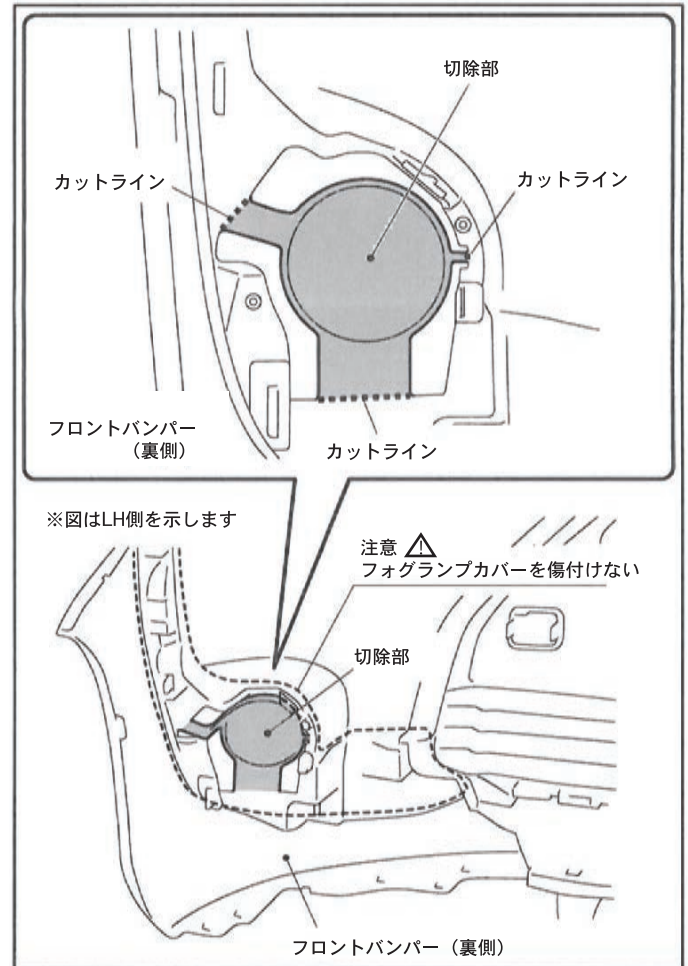
- ③ハーネスBの電源線 (赤線) を補機バッテリーに接続します。(画像⑪)

### ■ハイブリッド車の場合

- ヒューズボックスの白いメインハーネスのカプラーを抜きます。(画像⑫)
- ヒューズボックスの黒い樹脂カバーを取り外します。(画像⑬)
- 電源ターミナルに③ハーネスBの電源線 (赤線) を接続します。(画像⑭)

## 8.フロントバンパーの加工

- 車両バンパーの裏側より、エアソー等を使用して図のカットラインに沿って、フォグランプカバー (3カ所) をカットします。
- カットした箇所のバリをヤスリで取り除き、切り粉を掃除機等で取り除いて下さい。(反対側も同様にカットします。)



### ⚠ 注意

フロントバンパーの加工は、フォグランプカバーを取り外さずに行いますので、フォグランプカバーに傷を付けない様に十分注意して作業を行って下さい。  
バンパー表面にも傷を付けない様、必ず保護シートの上で作業を行って下さい。

- ①ハロゲンフォグランプを車両に⑤タッピングビスを使用して取付けます。(画像⑮)
- 反対側も同じ様に取付けます。(画像⑮)

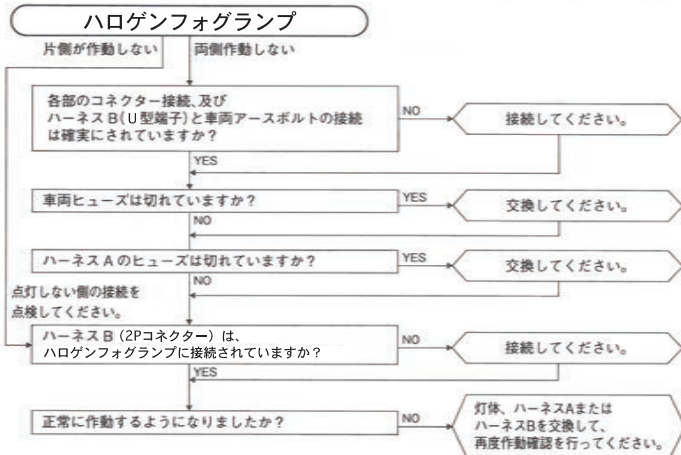
## ■ 取付手順

### ■ 作動確認

	ヘッドランプ スイッチ	フォグランプ スイッチ	ハロゲン フォグランプ
①	OFF	OFF	消灯
		ON	
②	スモールランプまたは ヘッドランプ	OFF	点灯
		ON	

### ■ トラブルシュート

このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。



### 9. 作動確認

- ③ハーネスBの2Pカプラーを①ハロゲンフォグランプに接続し、フロントバンパーを車両に仮組します。
- 補機バッテリーのマイナス（－）端子を接続します。
- 左表に従い、作動状態の確認を行ってください。
- 正しく作動しない場合は、左項のトラブルシュートを行ってください。

### 10. 復元作業

- 取り外した車両部品を元通りに取付けて下さい。

#### ⚠ 注意

復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させない様に十分注意して下さい。

#### バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

（ICS付き車で、バッテリーを取り外した場合は、GTS等のツールが必要な場合があります。

修理書をご参照の上、初期化作業を行ってください。

### 10. 最終確認

- ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取付けミスが無いか、もう一度確認して下さい。
- ヘッドランプ等、電気系統に異常が無いか確認して下さい。